

今、求められる木材乾燥とは

主 旨：

木材乾燥に関する技術は格段に進歩し、割れのほとんどない乾燥材が供給できるようになりました。一方、これらの乾燥材を使用する立場の建築サイドからは、新しい乾燥材の色やにおいに対する違和感、強度上の不安感などを耳にします。そこで、このたびの公開フォーラムでは、木材乾燥サイドが建築サイドのニーズを汲み取って開発してきた乾燥材と、建築サイドが乾燥サイドに求める乾燥材との間にギャップがあるのかないのかを確認し、もしあるならばそのギャップを埋めるための議論を行います。

具体的にはまず、木材乾燥に関する解説を専門家から聴きます。次に、建築サイド（構造・デザインの立場）から木材乾燥サイドへ疑問や要望などを投げかけていただきます。その後のパネルディスカッションで、木材乾燥サイドと建築サイドとの考え方のギャップをあぶりだします。この公開フォーラムを通じて、木材乾燥に携わる方々や乾燥材に関心をお持ちの方々を始めとする多くの方々の間で、乾燥材に対する認識を共有できることを期待しています。

日 時：5月28日(日) 14:40～17:50(3時間10分) 12:00～ 受付

会 場：東京大学農学部内 弥生講堂一条ホール

定 員：300名

参加費：無料 資料代2,000円(会場にてお支払い)

プログラム

総合司会：

松留慎一郎（職業能力開発総合大学校 名誉教授）

<開会挨拶>

安藤邦廣（特定非営利活動法人 木の建築フォーラム 理事長）

<趣旨説明>

大橋好光（東京都市大学 教授）

<乾燥材に関する話題提供1>

「木材乾燥の種類と特性」藤本登留（九州大学 准教授）

<乾燥材に関する話題提供2>

「乾燥材の強度と耐久性」槌本敬大（国立研究開発法人 建築研究所）

<建築サイドから木材乾燥に期待すること1>

「構造設計の立場から」山辺豊彦（㈲山辺構造設計事務所）

<建築サイドから木材乾燥に期待すること2>

「デザインの立場から」日影良孝（日影良孝建築アトリエ）

<建築サイドから木材乾燥に期待すること3>

「デザインの立場から」杉本洋文（東海大学 教授）

<パネルディスカッション>

コーディネータ：

杉本健一（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所）

青木謙治（東京大学大学院 講師）

パネリスト：

大橋好光、藤本登留、槌本敬大、山辺豊彦、日影良孝、杉本洋文（前掲）

<まとめ>

加来照彦（㈱現代計画研究所）

【申込先】木の建築フォーラム事務局 行

申込日 年 月 日

※必要事項をすべてご記入ください。□は、該当するところにチェックを入れてください。

また、複数名でお申込する際は、お申込の方の全員のお名前をご記入ください。

御名前	所属	会員番号
		<input type="checkbox"/> 会員 (No.) <input type="checkbox"/> 一般

連絡先 (自宅 勤務先)

住所	〒
電話 :	FAX :
E-mail :	

・連絡方法 : 電話 FAX E-mail での連絡を希望します

・CPD 単位 : 希望する 希望しない (CPD 番号 :)

□ 第23回公開フォーラム「今、求められる木材乾燥とは」

開催日 2017年5月28日 日曜日 参加費 無料

資料集 当日2,000円にて販売予定

懇親会 (参加費5,000円予定)

【お申込・お問合せ先】 NPO 木の建築フォーラム 事務局

TEL : 03-5840-6405 FAX : 03-5840-6406 Email : office@forum.or.jp

本申込書を FAX または、E-mail にてお送り下さい。

申込書の受領後、事務局より受付のご連絡を差し上げます。